

平成24年度
実施事業

事務事業名	市民生涯学習推進講座（登別ときめき大学）
-------	----------------------

区分	No	名称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	1	生涯にわたって学び続ける社会をつくる
施策	1	市民の主体的な学習の推進
小分類	1	生涯学習活動の促進
主要な施策	1	①ライフステージ（生涯学習各期）に対応した多様な学習機会の充実
事務事業番号	008	事業開始年度 平成 23 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	教育部	グループ名	社会教育グループ
-----	-----	-------	----------

事務事業の概要 《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民が生涯を通じて、学習活動を行うことのできる環境を整えることで、学習成果の活用が図られる生涯学習社会の実現を目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	社会・経済・自然・歴史・文化など他分野を学び、それぞれの知識の充実とともにまちづくりを担う人材を育成する。事務局主催の基礎コースと他団体主催の連携コースを設置。 【基礎コース】 「南極を歩いて見えてきた地球のこと」、「津波から逃げる」、「エゾシカは森の恵み」、「ヨガ」2回、「社会見学」（テーマ 私たちの生活で発生しているゴミについて）、「地場産へのこだわり」、「人を惹き付ける話し方とテレビ・ラジオ放送について」 計 8回 【連携コース】 ウォーキング講習会、郷土資料館特別展、縄文講演会など 計 86講座登録
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	登録者数を増加させるために、引続き運営委員会と協働で講座内容の充実と周知を図っていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円	227	111	120	120	120
一般財源	名称	千円	195	269	388	388	388
事業費 合計			422	380	508	508	508

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 受講者数（基礎コース年間）	人	目標値	300	300	350	350	350
			実績値	510	274			
	② 学習回数（基礎コース年間）	回	目標値	6	6	8	8	8
			実績値	7	8			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
①運営委員会を開催しての講座内容の決定に時間がかかることがある。	①運営委員との講座内容の打ち合わせ・確認をメール・ファックス等も使い、決定をより迅速に進め、参加者に情報を発信した。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 現在の形態が落ち着くまでの数年は運営委員会との協働で実施する必要があるが、将来的には運営委員会による自主運営が望ましい。また、市内だけではなく、地域全体の学習環境の充実を図るためにも、広域化を図る必要がある。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民から内容の充実した講座の提供が求められている。また、学習環境の整備は、市民を中心とした地域力を高めることにもつながり、必要性が高い事業といえる。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 年間の講座日程で講師の所属団体によっては低予算で実施している。また、全国クラスの講師においては多額の経費がかかるものの、地域をより理解するためにも、広い視点を持った一流の話を聞く機会を整備する必要がある。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 旧大学からの移行のため多少の戸惑いも見られるが、講座テーマなど事業の充実の声を受けている。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

維持	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	まちづくりを担う人材を育成するなど生涯学習社会を推進するためにも、運営委員会と協働でより充実した講座を企画し、事業を進めていく必要がある。
-----------	----------------------	---

②行政評価会議による評価 《Check》

維持	備考
-----------	----

③総合的な評価(当該事務事業の方向性) 《Action》

維持	備考
-----------	----

〔評価区分〕

- ◆拡大 (事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業)
- ◆維持 (事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施個所等に変更が生じる事業)
- ◆改善 (当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業)
- ◆休止 (暫定的に休止する事業)
- ◆廃止 (事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業)
- ◆終了 (事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業)